

# どうなる？ “かんたき”

2012年に創設された看護小規模多機能（当初複合型サービス）は昨年7月で全国に449か所開設されました。ようやく介護保険サービスとして医療介護業界や自治体で浸透しつつあり、地域によってはその存在が地域住民に知れるようになっています。とはいえ、各自治体での格差は大きく、まだまだサービスがないところも多く、そのような地域では、住民自身、名称もどんなサービスなのかもわからないのが実態で、整備の促進や周知活動も十分ではありません。看多機サービスの利用者は、末期がんや進行性の難病などの医療依存度が高い方や重度障害を有する要介護者が多いという特徴があります。したがって平均要介護度も高く、看取りも多く、その意味からも在宅ホスピスの拠点といっても過言ではありません。

一方で、事業経営の観点からは、重度の利用者の確保や運営上のリスクも高く、24時間を支える看護・介護職員の確保、専門性の高い教育研修の確保困難などから、難易度の高い事業ともいえます。

以上のことから全国での看多機の伸び悩みが大きな課題となっています。

看多機

かわらばん

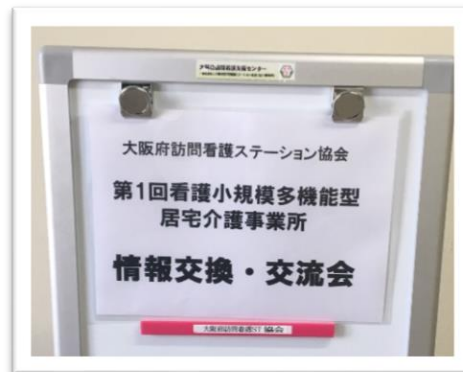
VOL.1

看護小規模多機能型  
居宅介護事業部会  
2019年  
7月1日（月）

## 大阪の“かんたき”大集合！！

現在大阪府下41か所の看多機が開設されています。そんな中、先日令和元年最初の「第1回看多機情報交換・交流会」が5月24日に開催されました。勤務の合間を縫って、参加事業者数：23事業所、参加人数：27名。正直思っていたより多くの方に会お集まりいただきちょっと感動…。地域での活動や困りごと等の情報交換をしていく中、なんか、“一人じゃないんだ！”と思ったのは私だけでしょうか…。ほんと、忙しい忙しい中、集まっていたいただいた貴重な時間。これからも集まり続けて意味のある、意義のある交流会にしていきませんか？

大阪の底力を熱い志とともに… **次回也大集合!!**



### 第1回交流会開催までの舞台裏

交流会を開催する約1年前から、発足に向けて活動が開始しておりました。

全国で初めて、都道府県単位で行うという事で、どのような会にするのか、何度も話し合いを重ねて「全国の先駆けとなる会を何としても成功させたい」と、発足させていただいた次第です。

この交流会が開催される前日まで、どのような会にするか微調整しており、当日開催できた事、皆さまとお話できた事、本当に嬉しく思いました。

### 片岡副会長からのメッセージ やっと始まりました交流会！

今年度は3回程度の交流会開催を予定しておりますが、なんと！！第1回目の交流会後に厚生労働省老健局老人保険課の人に大阪が開催した交流会の話が届き「大阪すごい！」ということになり、第2回目は厚生労働省看護専門官にお越しいただくことになりました☆